

令和5年度（2023年度）

学校評価報告書

学校法人 箕面自由学園

箕面自由学園中学校高等学校

## 令和5年（2023年）度 箕面自由学園における学校評価についての報告

学校教育法施行規則に則り学校評価を実施。文部科学省「ガイドライン」に従い、

- ① 学校が運営目標を設定し、達成状況を把握・整理し取り組みの適切さを検証することにより、学校運営を組織的・継続的に改善すること。
  - ② 学校が評価の実施とその結果を説明・公表することにより、保護者、地域住民の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される開かれた学校づくりを進めること。
  - ③ 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件設備等の必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。
- の三点とし、教職員による自己評価、保護者・生徒による評価を、以下の通り実施しました。

### ①教職員による自己評価（オンラインアンケート方式）

評価対象期間 2023（令和5）年度（約9ヵ月間）

評価実施時期 令和5年12月7日～令和6年1月31日

アンケート対象者 中学校・高等学校教員

### ②保護者による評価(オンラインアンケート形式)

評価対象期間 2023（令和5）年度（約9ヵ月間）

評価実施時期 令和5年12月7日～令和6年1月31日

アンケート対象者 中学校1・2・3年生保護者、高等学校1・2・3年生保護者

### ③生徒による評価(オンラインアンケート形式)

評価対象期間 2023（令和5）年度（約9ヵ月間）

評価実施時期 令和5年12月7日～令和6年1月31日

アンケート対象者 中学校1・2・3年生、高等学校1・2・3年生

また、保護者に対しては、「他校と比べて本校が優れていると思う点」「本校の発展のために工夫や改善が必要だと思う点」を、それぞれ自由記述で評価をお願いした。

昨年度より「株式会社エデュケーションアルネットワーク IKISAKI」に、データの集計・処理・分析を委託し、令和6年3月に集計結果および分析が戻ってきた。また、教員対象の分析報告会を令和6年3月25日（月）最終中高合同職員会議の冒頭20分程度に実施し、直接の課題や今後の改善についてアドバイスをいただいた。

昨年度アンケートの実施において、同一人物が複数回、回答できてしまうなどの不具合が見つかったので、データの信頼性の観点から修正をお願いしていた部分については改善がみられたが、高等学校3年生は2学期期末考査を実施しなくなったことにより、特にI類の生徒に対するアンケートの実施が困難であったことは次年度以降の反省材料である。

具体的な分析は、「令和5（2023）年度 学校評価分析」にて報告する。

## 2023（令和5）年度 箕面自由学園のモットーと学校目標（学校目標に対応する設問）

### ◎建学の精神と箕面自由学園のモットー

1. 建学の精神：「豊かな自然環境を基盤に、体験と実践を通じて伸び伸びと個性を発揮できる、  
教養高い社会人を育成する」
2. 箕面自由学園のモットー  
生徒が、自分で選び、決めて、チャレンジする、という「社会を生き抜くための主体性」を育てる

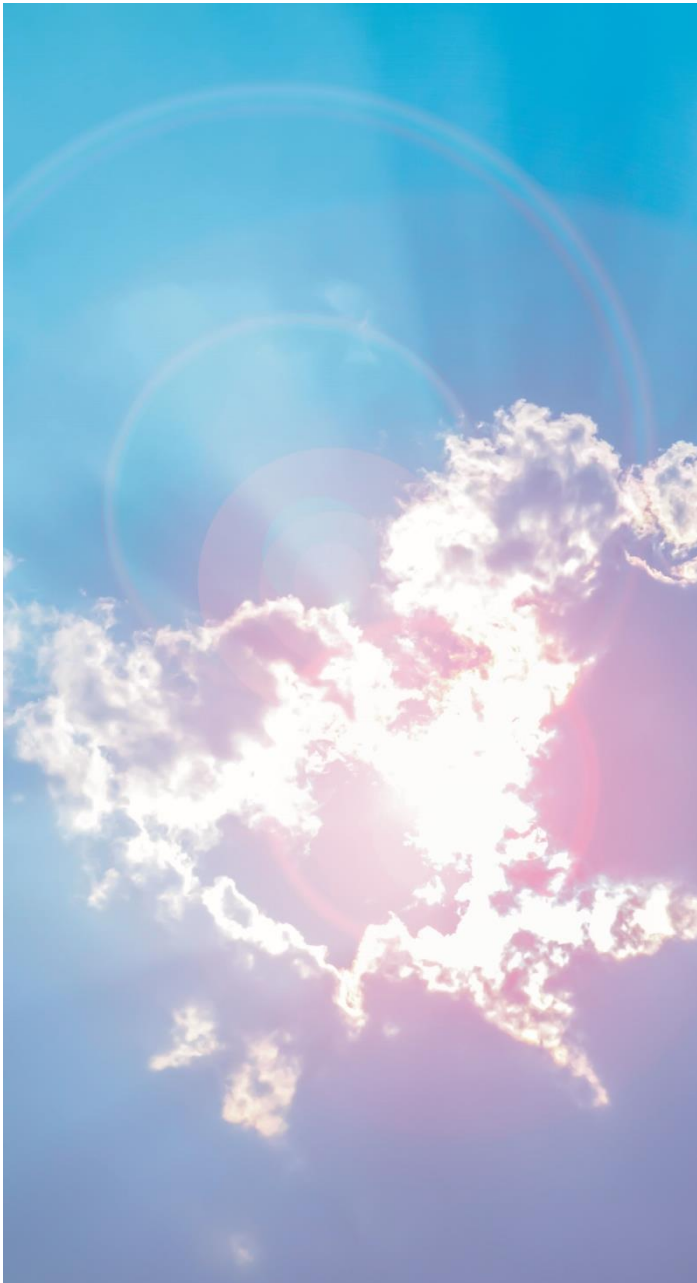
### ◎学校目標（経年比較をするために2022年度と同じ目標を掲げる）

#### ○学園の情報発信

1. 学校の情報を公開する Q1・Q26・Q27・Q28
2. 2025年（100周年）に向けての環境整備 Q6・Q19・Q22・Q23
3. 安全・健康・心身のケア・感染症対策 Q24・Q25

#### ○教育の内容

1. 新しい時代の「教養高い社会人の育成」
  - (1) 「元気、勇気、笑顔」を大切にする Q2
    - 〈1〉相手の目を見て挨拶する
    - 〈2〉何事にも前向き・積極的
  - (2) マナー、礼儀、作法、特に挨拶を大切にする
    - 〈1〉他者とのコミュニケーションに必要な基本的なものを常に意識する Q11
    - 〈2〉周りの人間・仲間に対する思いやり、心配りを大切にする Q12
    - 人権に対する正しい理解と認識を育む Q15
  - (3) 社会に通じる活動を通じて、優しさや思いやり、敬う心を育む
    - 〈1〉デザインタイム・チャレンジタイムなどの充実 Q8
    - 〈2〉事前の学習や事後の振り返りをし、それぞれの活動の意義を明確にする Q20・Q21
2. 自分で選び、決めて、チャレンジする
  - (1) 「自分の人生は自分でデザインする」ための情報提供 Q9・Q10
  - (2) やらされるのではなく、目標を定め、自分の意思で行動し、自分のものにする  
→クラブ活動や自治会活動の充実 Q16・Q17・Q18
3. 社会を生き抜くための主体性
  - (1) 学力向上、授業内容の充実のための取り組み
    - 〈1〉教員の資質向上を図る Q3・Q5
    - 〈2〉ICTの活用 Q7
  - (2) 生徒自らの学習力の向上に向けて Q4
    - 〈1〉他力依存型から自立独立型へのバージョンアップ
    - 〈2〉スタディサプリ等教育アプリの活用
4. 学校と家庭の連携
  - (1) 教員・生徒・保護者の面談を可能な限り持つ Q13・Q14
  - (2) 必要な情報提供の充実 Q29・Q30



2023

Educational Network



# 箕面自由学園中学校高等学校 ikisakiレポート報告会

---

株式会社エデュケーショナルネットワーク

R&Dセンター リサーチャー

川口晋作

---



<https://www.edu-network.jp/>

Copyright © 2022 Educational Network, Inc.



# 調査概要

2023年度 学校評価アンケート

調査対象：生徒・教職員・保護者

調査期間：2023年12月7日～2024年1月31日

調査方法：WEBアンケート回答にて



# 設問リスト - ①

番号	設問内容
Q1	私は、学園の建学の精神である「教養高い社会人の育成」を理解している
Q2	本校では、私たち生徒へ「元気・勇気・笑顔」の意識が育つよう指導している
Q3	本校の先生方は、授業における教材や教え方を工夫している
Q4	本校の先生方は、生徒の学習力向上に向けて一生懸命に取り組んでくれている
Q5	私は、本校の授業を受けて、学ぶことの大切さを感じている
Q6	本校の授業や学習に関する環境・施設は充実している
Q7	本校では、ICTを教育活動に有効利用できている
Q8	私にとって、本校のデザインタイム（中学：Jタイム）は充実している
Q9	担任の先生や進路担当の先生は、私に対して進路に関する指導を親切にしてくれる
Q10	本校では、進路に関する情報やガイダンスなど、私が進路選択に向けて知りたい情報を十分に提供してくれる
Q11	本校の生徒指導に満足している
Q12	本校では、私たち生徒に「ルールを守る事の大切さ」や「規則正しい生活習慣」が身につくように指導してくれる
Q13	本校の先生方は、私の悩みや相談に親身にのってくれる
Q14	本校では、私や保護者が学校に相談する機会（三者面談など）が十分にある
Q15	本校では、私たち生徒に「人権を尊重する態度や意識」が育つよう指導している



## 設問リスト - ②

番号	設問内容
Q16	本校では、私たち生徒に「清掃活動や環境美化の大切さ」を指導している
Q17	本校では、自治会（生徒会）活動は盛んである
Q18	本校のクラブ活動に対する先生方の指導は熱心で満足できる
Q19	本校のクラブ活動に関する施設や学校の支援体制は十分である
Q20	本校の各種校外学習（自主研修・修学旅行・研修旅行、等）の内容に満足している
Q21	本校の学校行事（文化祭・体育祭）は充実している
Q22	本校の図書館は広さや蔵書数など充実している
Q23	本校の食堂は広さ、メニュー、価格ともに満足している
Q24	本校が行っている私たち生徒の安全・健康の管理には満足している
Q25	本校では、私たち生徒の心や体の悩みを相談できる体制（スクールカウンセラー等）が整っている
Q26	学園の様々な手続きに関する（事務的な）案内はわかりやすい
Q27	学園のことが良く伝わるような広報活動（情報提供）がなされている
Q28	本校のHPは、私にとって必要な情報が掲載されており、活用できている
Q29	本校では、私たち生徒に緊急情報が確実に伝達されるシステムが整っており安心できる
Q30	本校のPTA活動に満足している



# 1. 学校全体として満足度の高い項目

満足度	
とても思う	4点
やや思う	3点
あまり思わない	2点
思わない	1点

生徒・教職員・保護者の三者が重要視し、かつ十分な満足度をしめしている、箕面自由学園の「強み」と言える部分。

重要度・満足度ともに高い設問（すべてA）		生徒	教職員	保護者
Q.3	本校の先生方は、授業における教材や教え方を工夫している	A 3.18	A 3.37	A 3.22
Q.4	先生方は、生徒の学習力向上に向けて一生懸命に取り組んでいる	A 3.42	A 3.49	A 3.38
Q.9	担任の先生や進路担当の先生は、生徒に対して進路に関する指導を親切にしている	A 3.39	A 3.54	A 3.34
Q.10	本校では、進路に関する情報やガイダンスなど、生徒が進路選択に向けて知りたい情報を十分に提供している	A 3.26	A 3.55	A 3.30

上記のQ3. 4. 9は、昨年から継続して三者ともに「A」で、満足度も3.50前後の非常に高い数値も散見される。

一方、前年は三者がA評価だった設問のうち、

Q2「本校では、私たちへ『元気・勇気・笑顔』の意識が育つようにしている」の生徒の評価がA⇒D、教職員の重要度がA⇒B。

Q29「本校では、私たち生徒に緊急情報が確実に伝達されるシステムが整っており安心できる」の

生徒の評価がA⇒Dに変化したため、回答者別での検証と改善が必要になった。





## 2. 学校全体の課題点

生徒・教職員・保護者の三者すべてで満足度が低くなっている、学校全体として取り組むべき「課題」

三者ともに重要度は高いが、いずれも満足度が低い設問（すべてD）		生徒	教職員	保護者
Q.5	本校の授業を受けて、生徒は学ぶことの楽しさを感じている (知的好奇心が刺激されている)	D 2.79	D 3.06	D 3.00
Q.6	本校の授業や学習に関する環境・施設は充実している	D 2.99	D 2.37	D 3.00
Q.15	本校では、私たち生徒に「人権を尊重する態度や意識」が育つよう指導している	D 3.01	D 2.95	D 3.03

重要度の認識に差があるものの、全体的に満足度が低い設問（AorBなし）		生徒	教職員	保護者
Q.16	本校では、私たち生徒に「清掃活動や環境美化の大切さ」を指導している	C 2.81	C 2.47	C 2.92
Q.28	本校のHPは、私にとって必要な情報が掲載されており、活用できている	C 2.86	C 3.02	C 2.97
Q.30	本校のPTA活動に満足している	C 2.80	C 2.85	C 2.86



### 3. 自由記述欄より

保護者の自由記述欄からコメントを一部抜粋。

#### ● 他校と比べて本校が優れていると思う点

- ・アットホームな雰囲気
- ・先生がとても熱心に指導してくれている
- ・生徒がいつも元気に挨拶をしてくれる
- ・探究や校外学習など課外活動が多く、色々な体験ができる
- ・朝早くから遅くまで学習時間を確保できる
- ・校則が厳しすぎず、伸び伸びとした学校生活を送っている

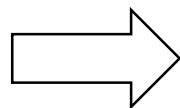
#### ● 本校の発展のために工夫や改善が必要だと思う点

- ・食堂の広さや提供時間、メニュー
- ・施設の老朽化が気になる
- ・靴下や靴は自由にしてほしい
- ・下駄箱と教室が離れている



## 4. 学校目標に対応する設問別の分析

学校目標	学校目標に対する項目	対応する設問
学園の 情報発信	学校の情報を公開する	Q1、Q26、Q27、Q28
	2025年(100周年)に向けての環境整備	Q6、Q19、Q22、Q23
	安全・健康・心身のケア・感染症対策	Q24、Q25
教育の 内容	新しい時代の「教養高い社会人」の育成	Q2、Q8、Q11、Q12、Q15、Q20、Q21
	自分で選び、決めて、チャレンジする	Q9、Q10、Q16、Q17、Q18
	社会を生き抜くための主体性	Q3、Q4、Q5、Q7
	学校と家庭の連携	Q13、Q14、Q29、Q30



次頁より「学校目標に対する項目」ごとのグループに分けて分析。  
各設問について満足度の傾向や回答者別の認識のズレを把握し、検証や改善に活かす。



## 5. 「学校の情報を公開する」

( )内の数値は昨年の満足度

◆「学校の情報を公開する」に関する項目		生徒	教職員	保護者
Q.1	私(回答者)は学園の建学の精神である「教養高い社会人の育成」を理解している。 <small>*教職員が回答者の場合は「生徒・教職員・保護者ともに理解している」。</small>	C 2.94 (2.86)	C 2.86 (2.92)	B 3.19 (3.23)
Q.26	生徒・保護者にとって、学園の様々な手続きに関する(事務的な)案内はわかりやすい	D 2.97 (2.95)	C 2.77 (2.87)	A 3.26 (3.29)
Q.27	学園のことが良く伝わるような広報活動(情報提供)がなされている	C 2.95 (3.01)	A 3.20 (3.26)	C 3.07 (3.16)
Q.28	本校のHPは、生徒・保護者にとって必要な情報が掲載されており、活用できている	C 2.86 (2.86)	C 3.02 (3.01)	C 2.97 (3.04)

- 事務手続きと広報活動には回答者ごとの優先度に差が見られる。
- Q26は生徒と保護者は重視しているが、教職員はあまり重視していない。  
生徒は昨年に引き続き不満を感じているため、どの事務手続きに不満があるのかを把握する必要がある。  
一方、保護者は昨年から満足度にあまり変わりはないものの、重要度が増している点に留意(昨年はB)。
- Q27の広報活動に関しては、教職員は昨年に引き続いて重視しており、満足度も昨年並みを維持している。  
しかし生徒と保護者の満足度が昨年から減少しており、特に生徒は3.0に未達のため注意が必要。



## 6. 「2025年(100周年)に向けての環境整備」

( )内の数値は昨年の満足度

◆「2025年に向けての環境整備」に関する項目	生徒	教職員	保護者
Q.6 本校の授業や学習に関する環境・施設は充実している	D 2.99 (2.93)	D 2.37 (2.53)	D 3.00 (3.00)
Q.19 本校のクラブ活動に関する施設や学校の支援体制は十分である	D 2.94 (2.87)	C 2.52 (2.54)	C 2.91 (2.88)
Q.22 本校の図書室は広さや蔵書数など充実している	B 3.13 (3.10)	C 2.60 (2.76)	C 2.91 (2.91)
Q.23 本校の食堂は広さ、メニュー、価格ともに満足している	A 3.12 (2.93)	C 2.40 (2.24)	C 2.55 (2.59)

- Q6は、三者いずれも重要と感じつつも不満を抱いており、学校全体で改善の取り組みが必要。  
特に**教職員の2.37は他設問と比べても非常に低く、具体的に何に対して不満があるのか確認が必要。**  
なお、保護者の自由記述欄には施設の老朽化に関するコメントが散見された。
- Q19も三者いずれも3.0に未達であり、**特に当事者である生徒にとっての重要度は高い。**  
Q6と同じく、この設問も昨年から継続している傾向で、学校全体として検証や改善が求められる。
- **Q23は昨年の生徒の満足度が3.0未達だったが、今年は大きく改善されている。**



## 7. 「安全・健康・心身のケア・感染症対策」

( )内の数値は昨年の満足度

◆「安全・健康・心身のケア・感染症対策」に関する項目		生徒	教職員	保護者
Q.24	本校が行っている生徒の安全・健康の管理には満足している	A 3.16 (3.14)	D 2.91 (2.91)	A 3.11 (3.17)
Q.25	本校では、生徒の心や体の悩みを相談できる体制(スクールカウンセラー等)が整っている	D 3.00 (3.00)	A 3.12 (3.19)	D 3.04 (3.02)

- Q24は昨年と同じ傾向で、三者いずれも重要度が高いと感じている中で教職員は不満感をもっており、満足度も3.0に未達で伸び悩んでいる。  
生徒や保護者はさほど課題に感じていないが、**教育現場の視点では改善すべき箇所があるかもしれない。**
- Q25は、昨年は生徒と保護者の重要度は高くなかったが、今年に変化が見られた。  
**スクールカウンセリングに対する関心が高まっている**ことをしめしており、現時点でも極端に低い満足度ではないものの、今後は4.0点満点を目指して取り組むことが必要。  
特に教職員の視点とはズレが見られるので、生徒・保護者に積極的に関わって改善していく必要がある。



## 8. 「新しい時代の教養高い社会人の育成」 - ①

( )内の数値は昨年の満足度

◆「教養高い社会人の育成」に関する項目 (1)	生徒	教職員	保護者
Q.2 本校では、生徒へ「元気・勇気・笑顔」の意識が育つよう指導している	D 2.99 (3.01)	B 3.14 (3.19)	A 3.28 (3.30)
Q.8 生徒にとって、本校のデザインタイム(中学:Jタイム)は充実している	B 3.13 (3.05)	B 3.23 (3.16)	C 2.96 (2.94)

- Q2は生徒の満足度が3.0に未達である点に要注意。  
特に中2・高2の学年平均の満足度が低く、高3も伸び悩んでいる傾向があった。  
教職員の重要度が昨年から下がっていること(A⇒B)とも関連がある可能性がある。
- Q8は昨年と同じ傾向。満足度は3.0前後で、BまたはCなので、他の課題点と比べると優先順位は低いが、保護者が2年連続で3.0に未達である点には留意。  
学年別で見ると、中3と高3以外のすべての学年で3.0に未達だった。



## 8. 「新しい時代の教養高い社会人の育成」 - ②

( )内の数値は昨年の満足度

◆「教養高い社会人の育成」に関する項目 (2)		生徒	教職員	保護者
Q.11	本校の生徒指導には満足している	C 2.89 (2.88)	D 2.88 (3.11)	A 3.20 (3.20)
Q.12	本校では、生徒に「ルールを守る事の大切さ」や「規則正しい生活習慣」が身につくように指導している	D 3.09 (3.08)	D 2.87 (2.95)	A 3.17 (3.21)
Q.15	本校では、生徒に「人権を尊重する態度や意識」が育つよう指導している	D 3.01 (3.08)	D 2.95 (3.08)	D 3.03 (3.08)
Q.20	本校の各種校外学習(自主研修・修学旅行・研修旅行、等)の内容に満足している	A 3.23 (3.08)	B 3.45 (3.34)	A 3.37 (3.32)
Q.21	本校の学校行事(文化祭・体育祭)は充実している	D 2.94 (3.02)	B 3.33 (3.08)	B 3.22 (3.15)

- Q11は教職員の変化に注目。昨年の満足度は3.11で「重要度が高いと感じており、満足している」だったが、**今年は2.80台に落ち込んでおり、特に高2および高3の教職員の満足度が下がっている。**  
生徒の満足度も2年連続で3.0に未達である点にも注意し、日ごろの生徒の様子をよく観察する必要。
- **昨年の生徒はQ12・Q15・Q21が「A」で十分に満足していたが、今年はいずれも物足りなさをしめす結果。**  
規則や人権に対する意識の高まりや、学校行事に対する不満感があらわれている。  
特にQ15は三者いずれも強く重視しているため、学校全体で取り組んでいく必要がある。





## 9. 「自分で選び、決めて、チャレンジする」 - ①

( )内の数値は昨年の満足度

◆「自分で選び、決めて、チャレンジする」に関する項目 (1)		生徒	教職員	保護者
Q.9	担任の先生や進路担当の先生は、進路に関する指導を親切にしている	A 3.39 (3.39)	A 3.54 (3.47)	A 3.34 (3.21)
Q.10	本校では、進路に関する情報やガイダンスなど、進路選択に向けて知りたい情報を十分に提供している	A 3.26 (3.33)	A 3.55 (3.54)	A 3.30 (3.29)

- 「自分で選び、決めて、チャレンジする」の設問グループのうち、Q9とQ10の満足度は三者ともに非常に高く、**学校の進路指導が大きな支持を得ていることが分かる。**昨年と比べると教職員と保護者の満足度は増加しており、保護者による自由記述欄でも進路情報を学校の長所に挙げるコメントが散見された。
- 生徒の評価ではQ9は学年間に大きな差もなく、いずれも高い水準を保っている。ただしQ10は、中2・中3の満足度が伸び悩んでおり、高校進学前の情報提供が求められている。保護者も学校が提供する進路情報に十分満足しており、大きな課題点はないが、中1・中2の満足度がやや低く、生徒以上に早い段階での進路指導に関心がある可能性がある。なお、**高2・高3の生徒をもつ保護者の満足度は非常に高かった。**



## 9. 「自分で選び、決めて、チャレンジする」 - ②

( )内の数値は昨年の満足度

◆ 「自分で選び、決めて、チャレンジする」に関する項目 (2)	生徒	教職員	保護者
Q.16 本校では、生徒に「清掃活動や環境美化の大切さ」を指導している	C 2.81 (2.81)	C 2.47 (2.66)	C 2.92 (2.93)
Q.17 本校の自治会(生徒会)活動は盛んである	B 3.11 (3.09)	B 3.40 (3.26)	C 2.95 (3.00)
Q.18 本校のクラブ活動に対する先生方の指導は熱心で満足できる	B 3.20 (3.20)	B 3.37 (3.21)	C 3.08 (3.10)

- 改善の優先度こそ低いものの、Q16の満足度が三者とも3.0点に未達であることに注意。  
特に**教職員のQ16の満足度2.47は他設問と比べても非常に低い数値**であり、昨年と比べても0.2減。  
どの学年においても満足度は伸び悩んでおり、あまり放置せず改善に取り組んでいく必要がある。  
生徒の評価には学年ごとのバラつきが見られ、中1・中3・高3は清掃活動に対する重要度は高い。
- Q17と18は概ね高い満足度だが、保護者がやや伸び悩んでいる。  
特にQ17は高校生の子をもつ保護者の満足度が低く、高校3年間の学年平均はいずれも3.0に未達だった。



# 10. 「社会を生き抜く主体性」

( )内の数値は昨年の満足度

◆「社会を生き抜く主体性」に関する項目	生徒	教職員	保護者
Q.3 先生方は、授業における教材や教え方を工夫している	A 3.18 (3.18)	A 3.37 (3.40)	A 3.22 (3.22)
Q.4 先生方は、生徒の学習力向上に向けて一生懸命に取り組んでいる	A 3.42 (3.37)	A 3.49 (3.46)	A 3.38 (3.43)
Q.5 本校の授業を受けて、生徒は学ぶことの楽しさを感じている (知的好奇心が刺激されている)	D 2.79 (2.82)	D 3.06 (2.86)	D 3.00 (2.98)
Q.7 本校では、ICTを教育活動に有効利用できている	C 2.98 (2.96)	C 2.95 (2.87)	B 3.17 (3.24)

■ Q3・Q4は昨年に引き続き三者いずれも高い満足度であり、学校の強みと言える部分。

特に中1の生徒の学年平均は3.49という非常に高い結果だった。

■ 一方で、Q5は昨年に引き続いて不満が見られる結果だった。

教職員と保護者の満足度は微増しているものの、生徒は2.70台に落ち込んでしまっている。満足度の学年平均が最も低かったのが高2の2.60で、2.20台のクラスもあるので要注意。

また、中2の学年平均2.74、中3の学年平均は2.99で留意すべき結果。

ただし中1の学年平均3.25で非常に高く、進級においてこの満足度を維持していく必要がある。



# 1 1. 「学校と家庭の連携」

( )内の数値は昨年の満足度

◆「学校と家庭の連携」に関する項目		生徒	教職員	保護者
Q.13	本校の先生方は、生徒の悩みや相談に親身にのってくれる	D 3.10 (3.13)	A 3.31 (3.34)	D 3.09 (3.08)
Q.14	本校では、生徒や保護者が学校に相談する機会(三者面談など)が十分にある	B 3.37 (3.33)	A 3.51 (3.48)	A 3.35 (3.29)
Q.29	本校では、生徒に緊急情報が確実に伝達されるシステムが整っており安心できる	D 3.05 (3.01)	A 3.19 (3.19)	A 3.36 (3.39)
Q.30	本校のPTA活動に満足している	C 2.80 (2.81)	C 2.85 (2.76)	C 2.86 (2.88)

- Q13とQ29の生徒の評価が、昨年は「満足している」だったが、今年是不満が見られる結果となった。生徒はどの学年においても重視しており、中2・高2の満足度が他の学年と比べて伸び悩んでいる。
- Q14は教職員と保護者が特に重視しており、昨年から三者いずれも高い満足度を維持している。
- 一方、Q30は、改善の優先度は低いものの、三者ともに3.0点に未達のため注意。中学生の教職員・保護者の評価は比較的高いが、高校になると満足度が伸び悩んでいる。



## 1 2. 今後の主な課題点まとめ

学校目標	目標に対する項目	これからの主な課題
学園の 情報発信	学校の情報を公開する	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒視点で事務手続を分かりやすくする</li><li>・生徒と保護者にとっての広報活動の満足度向上</li></ul>
	2025年(100周年)に向けての環境整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校全体で施設・環境面の改善に取り組む</li><li>・生徒視点でクラブ活動の充実を図る</li></ul>
	安全・健康・心身のケア・感染症対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員視点での「安全」への取り組み</li><li>・スクールカウンセリングの充実を図る</li></ul>
教育の 内容	新しい時代の「教養高い社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・「元気・勇気・笑顔」の意識を高める</li><li>・「規則」や「人権意識」に関する教育が求められている</li></ul>
	自分で選び、決めて、チャレンジする	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員の視点で「清掃・環境美化」の満足度向上</li><li>・高校の生徒会活動の活性</li></ul>
	社会を生き抜くための主体性	<ul style="list-style-type: none"><li>・知的好奇心が刺激される授業の工夫</li></ul>
	学校と家庭の連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒が悩みを相談しやすい環境づくり</li></ul>

## 令和5年度 箕面自由学園中学校高等学校 学校評価

### 1 建学の精神・モットー・めざす学校像

1. 建学の精神：  
豊かな自然環境を基盤に、体験と実践を通じて伸び伸びと個性を發揮できる、教養高い社会人を育成する
2. 箕面自由学園のモットー：  
生徒が、自分で選び、決めて、チャレンジする、という「社会を生き抜くための主体性」を育てる
3. めざす学校像：  
①「学習」、「規律・マナー」、「課外活動」の3つがバランス良く調和し、生徒が自由で伸び伸びとした個性を生かし、自主自立の精神旺盛な人間性を育むことにより建学の精神である「教養高い社会人の資質を育成」できる学校  
②生徒一人ひとりの夢の確認と、その実現に向けて、きめ細やかな学習指導、進路指導ができる学校  
③思いやり、心づかいの気持ちをもとに、他人に迷惑をかけず、社会的ルール、校内ルールを守る生徒を育成し、生徒が安心して学校生活を送ることができる学校  
④人生 100 年時代を生き抜くために自分で目標設定し、それに向けて努力して達成していくことで自信をつけ、仮に失敗しても何度もチャレンジできる気持ちを持った生徒を育成する学校

### 2 中期的目標

- ◎学園の情報発信
  1. 学校の情報を公開する
  2. 2025年(100周年)に向けての環境整備
  3. 安全・健康・心身のケア・感染症対策
- ◎教育の内容
  1. 新しい時代の「教養高い社会人の育成」
    - (1)「元気、勇気、笑顔」を大切にする
      - 〈1〉相手の目を見て挨拶する
      - 〈2〉何事にも前向き・積極的
    - (2)マナー、礼儀、作法、特に挨拶を大切にする
      - 〈1〉他者とのコミュニケーションに必要な基本的なものを常に意識する
      - 〈2〉周りの人間・仲間に対する思いやり、心配りを大切にする
    - (3)人権に対する正しい理解と認識を育む
    - (4)社会に通じる活動を通じて、優しさや思いやり、敬う心を育む
      - 〈1〉デザインタイム・チャレンジタイムなどの充実
      - 〈2〉事前の学習や事後の振り返りをし、それぞれの活動の意義を明確にする
  2. 自分で選び、決めて、チャレンジする
    - (1)「自分の人生は自分でデザインする」ための情報提供
    - (2)やらされるのではなく、目標を定め、自分の意思で行動し、自分のものにする  
➡クラブ活動や自治会活動の充実
  3. 社会を生き抜くための主体性
    - (1)学力向上、授業内容の充実のための取り組み
      - 〈1〉教員の資質向上を図る
      - 〈2〉ICTの活用
    - (2)生徒自らの学習力の向上に向けて
      - 〈1〉他力依存型から自立独立型へのバージョンアップ
      - 〈2〉スタディサプリ等教育アプリの活用
  4. 学校と家庭の連携
    - (1)教員・生徒・保護者の面談を可能な限り持つ
    - (2)必要な情報提供の充実

### 3 100周年に向けての取り組み(創立 100 周年関連事業) 2024 年度「箕面自由学園 運営方針」より

1. 教育環境の整備・改修
  - <実施済>
    - (1)教育環境:昨年度の高校 10 号館建設、大体育館空調改修、小学校グラウンド人工芝化に続き、中学校・高等学校グラウンド人工芝化、照明設備、高等学校 5,6 号館教室改修
    - (2)安全対策:昨年度の小中学校防犯関連設備設置、桂門ホール防犯カメラ設置に続き、幼稚園・プレイルーム外部フェンス改修
  - <実施予定>
    - (1)教育環境設備投資
      - 〈1〉桂門ホール 2 階可動席取替
      - 〈2〉高等学校 4 号館、5 号館、6 号館リニューアル工事
      - 〈3〉学園OAシステム更新
      - 〈4〉高等学校教員用 Wi-Fi 設備工事  
\*他の施設改修通常投資は、各年度の中で都度判断・実施
    - (2)業務のデジタル化と効率化
      - 〈1〉2024 年夏頃から段階的にGoogleワークスペースの活用推進  
(サイボウズの代替として共通活用、サイボウズ機能+タイムカード、交通費計算等)
    - (3)安全対策設備投資  
\*安全対策設備投資は、各年度の中で都度判断・実施  
\*行政との連携:〈1〉阪急電車桜井駅南口改札設置による正門までの通学路整備(箕面市)  
〈2〉駐輪場から府道 43 号線(バス道への坂道)への自転車通学安全対策の実施 ※今後対策エリアを拡大(豊中市)
2. 100周年記念事業概要
  - (1)2024 年
    - 〈1〉100 周年記念コーナー(桂門ホール内)の設置
    - 〈2〉桂門ホール北西角2階に LED ビジョンの設置
    - 〈3〉メインビジュアルの作成~記念動画の撮影~記念誌の作成進行
    - 〈4〉地元へのデジタルサイネージ等による 100 周年訴求開始
    - 〈5〉100周年 WEB サイトの活性化
  - (2)2025 年
    - 〈1〉100 周年記念誌の作成
    - 〈2〉記念ポスターの作成(在校生、卒業生参加)
    - 〈3〉記念式典の挙行
    - 〈4〉記念公演(吹奏楽部・チアリーダー部)

◎学園の情報発信

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学校の情報を公開する	(1) 学園のことを内部・外部に発信し、必要な情報をわかりやすく伝える。	(1) Classi や HP を利用にて学園の情報を発信する  リアルタイムの情報を素早く発信するためにInstagramなどの利用もする	(1) ・Q1 : 学園の建学の精神である「教養高い社会人の育成」を理解している ・Q26: 学園の諸手続きなどの(事務的な)案内はわかりやすい ・Q27: 学園のことが良く伝わるような広報活動(情報提供)がなされている ・Q28: 学校の HP は私にとって必要な情報が掲載されており、活用できている	(1) 「学校の情報を公開する」ことに関しては、生徒・保護者は重要視していない。  (Q26) 生徒は昨年に引き続き不満を感じているため、どの事務手続きに不満があるのかを把握する必要がある。 一方、保護者は昨年から満足度にあまり変わりはないものの、重要度が増している。 (Q27) 教職員は昨年に引き続いて重視しており、満足度も昨年並みを維持している。 しかし、生徒と保護者の満足度が昨年より減少しており、特に生徒は注意が必要
2 2025年(100周年)に向けての環境整備	(1) 施設・環境について、現状を把握し、可能なところから整備をする	(1) ・授業・クラブ活動・図書館・食堂に関して、生徒の要望を聞き、対応する ・校舎によってはトイレが少ないなどの問題がある。トイレ棟などの建設をしたが、新しい校舎においてもまだまだ不足している。 ・2023 年度には、中高両グラウンドともに人工芝化を検討しているが、更衣室や部室などその他にも不足しているものがある。 ・キッチンカーなどの対策を行ったが、食堂自体はまだまだ収容人数が少ない	(1) ・Q6 : 本校の授業や学習に関する環境・施設は充実している ・Q19: 本校のクラブ活動に関する施設や学校の支援体制は十分である ・Q22: 本校の図書室は広さや蔵書数など充実している ・Q23: 本校の食堂は広さ、メニュー、価格ともに満足している	(1) (Q6) 三者いずれも重要と感じつつも不満を抱いており、学校全体で改善の取り組みが必要。 特に教職員は他設問と比べても非常に低く、具体的に何に対して不満があるのか確認が必要。 なお、保護者の自由記述欄には施設の老朽化に関するコメントが散見された。 (Q19) 三者いずれも不十分さを感じている、特に当事者である生徒にとっての重要度は高い。(Q6)と同じく、この設問も昨年より継続している傾向で、学校全体として検証や改善が求められる。 (Q23) 昨年より生徒の満足度は大きく改善されている。
3 安全・健康・心身のケア・感染症対策	(1) コロナウイルス感染拡大防止などの予防対策とカウンセリングなどの事後の対応を充実させる	(1) ・マスクの着用や3密を防ぐなどの予防対策と、心のホットルームの案内を実施する ・生徒・保護者の満足度に比べて、教職員の満足度が低いのは、環境面で不安があるからだと推測できる。 ・心のホットルームとの連携を密に対応していく	(1) ・Q24: 本校が行っている私たち生徒の安全・健康の管理には満足している ・Q25: 本校では、私たち生徒の心や体の悩みを相談できる体制が整っている	(1) (Q24) 昨年と同じ傾向で、三者いずれも重要度が高いと感じている中で教職員は不満感をもっており、満足度も3.0に未達で伸び悩んでいる。 生徒や保護者はさほど課題に感じていないが、教育現場の視点では改善すべき箇所があるかもしれない。 (Q25) 昨年は生徒と保護者の重要度は高くなかったが、今年に変化が見られた。 スクールカウンセリングに対する関心が高まっていることをしめしており、現時点でも極端に低い満足度ではないものの、今後は4.0点満点を目指して取り組む必要がある。 特に教職員の視点とはズレが見られるので、生徒・保護者に積極的に関わって改善していく必要がある。

◎教育の内容

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
I 新しい時代の「教養高い社会人の育成」	(1) 「元気、勇気、笑顔」を大切に	(1) 相手の目を見て挨拶する、何事にも前向き・積極的という意識を教員が率先して実践する。 本校を来校された外部の方からも「箕面自由学園の生徒はよく挨拶をしてくれる」というお話をいただいているのでこれからも引き続き実践していく	(1) ・Q2:本校では、私たち生徒へ「元気・勇気・笑顔」の意識が育つよう指導している	(1) (Q2)生徒の満足度が低い点に要注意。特に中2・高2の学年平均の満足度が低く、高3も伸び悩んでいる傾向があった。 教職員の重要度が昨年から下がっていることとも関連がある可能性がある。
	(2) マナー、礼儀、作法を理解し、周りの人間・仲間に対する思いやり、心配りを大切にすることなど他者とのコミュニケーションに必要な基本的なものを常に意識する	(2) ・生徒の「マナー委員」による身だしなみのセルフチェックやマナーポスターコンクールによる啓発活動を実施した。 ・今後も啓発活動を実践するとともに、自治会を中心に教職員からの押し付けではなく、自主的に考えられるようにする	(2) ・Q11:本校の生徒指導に満足している ・Q12:本校では、私たち生徒に「ルールを守ることの大切さ」や「規則正しい生活習慣」が身につくように指導してくれる	(2) (Q11)教職員の変化に注目。昨年の満足度は「重要度が高いと感じており、満足している」だったが、今年は落ち込んでおり、特に高2および高3の教職員の満足度が下がっている。 生徒の満足度も2年連続で低い点にも注意し、日ごろの生徒の様子をよく観察する必要がある。
	(3) 人権に対する正しい理解と認識を育む	(3) ・人権教育推進室を中心として、講演会などを実施し、人権感覚を持たせる啓蒙活動を行う。 ・人権HRや講演会などを実施しているが、「大人」から見るとまだ人権意識が高いとは感じていない。より身近な話題や日常生活において人権意識を持たせていく	(3) ・Q15:本校では、私たち生徒に「人権を尊重する態度や意識」が育つよう指導している	(3) 昨年の生徒はQ12・Q15・Q21が「A」で十分に満足していたが、今年はいずれも物足りなさをしめす結果。規則や人権に対する意識の高まりや、学校行事に対する不満感があらわれている。 特にQ15は三者いずれも強く重視しているため、学校全体で取り組んでいく必要がある。
	(4) 社会に通じる活動を通じて、優しさや思いやり、敬う心を育む	(4) ・デザインタイム・チャレンジタイムなどを充実させるとともに、それぞれの活動や行事の事前の学習や事後の振り返りをし、それぞれの活動の意義を明確にする ・デザインタイム(Jタイム)で取り組んでいることと社会の活動をもう少しリンクさせる	(4) ・Q8 :私にとって、本校のデザインタイム(中学:Jタイム)は充実している ・Q20:本校の各種校外学習(自主研修・修学旅行・研修旅行、等)の内容は満足している ・Q21:本校の学校行事(文化祭・体育祭)は充実している	(4) (Q8)昨年と同じ傾向。他の課題点と比べると優先順位は低いが、保護者が2年連続で低い点には留意。 学年別で見ると、中3と高3以外のすべての学年で低かった。



<p>2 自分で選んで決めて、チャレンジする</p>	<p>(1) 「自分の人生は自分でデザインする」ための情報提供</p> <p>(2) やらされるのではなく、目標を定め、自分の意思で行動し、自分のものにする</p>	<p>(1) ・各担任や進路指導部を中心に個別面談等を実施し、各生徒の志望を明確化するとともに、必要な情報を提供する講演会なども実施する ・昨年度はクラスによっては極端に満足度が低いクラスがあったので、講演会の後に各クラスでどのような話をするかを担任に意識させるようにした。</p> <p>(2) ・クラブ活動や自治会活動を充実させ、自らの判断で決める機会を増やす ・クラスによっては意識が低いところがあるのは、担任の先生方声かけ一つや学年・コースによっては、放課後(6限後)の時間の使い方が異なるので、改善すべきところは改善する。</p>	<p>(1) ・Q9 :担任の先生や進路担当の先生は、私に対して進路に関する指導を親切にしてくれる ・Q10:本校では進路に関する情報やガイダンスなど、私が進路選択に向けて知りたい情報を十分に提供してくれる</p> <p>(2) ・Q16:本校では、私たち生徒に「清掃活動や環境美化の大切さ」を指導している ・Q17:本校では、自治会(生徒会)活動は盛んである ・Q18:本校のクラブ活動に対する先生方の指導は熱心で満足できる</p>	<p>(1) (Q9)(Q10)満足度は三者ともに非常に高く、学校の進路指導が大きな支持を得ていることが分かる。 昨年と比べると教職員と保護者の満足度は増加しており、保護者による自由記述欄でも進路情報を学校の長所に挙げるコメントが散見された。 ただしQ10は、中2・中3の満足度が伸び悩んでおり、高校進学前の情報提供が求められている。 保護者の中1・中2の満足度がやや低く、生徒以上に早い段階での進路指導に関心がある可能性がある。 なお、高2・高3の生徒をもつ保護者の満足度は非常に高かった。</p> <p>(2) (Q16)改善の優先度こそ低いものの、満足度が三者とも低いことに注意。 特に教職員の満足度は他設問と比べても非常に低い数値であり、昨年と比べても減っている。 どの学年においても満足度は伸び悩んでおり、あまり放置せず改善に取り組んでいく必要がある。 生徒の評価には学年ごとのバラつきが見られ、中1・中3・高3は清掃活動に対する重要度は高い。 (Q17)(Q18)概ね高い満足度だが、保護者がやや伸び悩んでいる。 特にQ17は高校生の子をもつ保護者の満足度が低く、高校3年間の学年平均はいずれも低かった。</p>
<p>3 社会を生き抜くための主体性</p>	<p>(1) 学力向上、授業内容の充実のための取り組み</p> <p>(2) 生徒自らの学習力の向上に向けて、他力依存型から自立独立型への教育を目指す</p>	<p>(1) ・ICTの活用など教員の資質向上を図る ・授業についての満足度は高いが、学習意欲向上に結び付いていない。定期考査の点数などが思ったほど取れないことに対する反応である可能性が高いと考えられる ・ICTの活用については、施設的な問題も含んでいると考えられるが、今後も日々進化するICTについての自己研鑽が必要である</p> <p>(2) ・スタディサプリ等の教育アプリの活用や予習の大切さを伝える。 ・今後の教育においてどこまで学校が「教える」のかを研究する必要がある</p>	<p>(1) ・Q3 :本校の先生方は、授業における教材や教え方を工夫している ・Q5 :私は、本校の授業を受けて、学ぶことの大切さを感じている ・Q7 :本校では、ICTを教育活動に有効利用できている</p> <p>(2) ・Q4 :本校の先生方は、生徒の学習力向上に向けて一生懸命に取り組んでくれている</p>	<p>(1) (Q3)(Q4) 昨年に引き続き三者いずれも高い満足度であり、学校の強みと言える部分。 特に中1の生徒の学年平均は非常に高い結果だった。 (Q5)一方で昨年に引き続いて不満が見られる結果だった。教職員と保護者の満足度は微増しているものの、生徒は落ち込んでしまっている。 満足度の学年平均が最も低かったのが高2で要注意。 また、中2・中3の学年平均も留意すべき結果。ただし中1の学年平均は非常に高く、進級においてこの満足度を維持していく必要がある。</p>
<p>4 学校と家庭の連携</p>	<p>(1) 教員・生徒・保護者の面談を可能な限り持つ</p> <p>(2) 必要な情報提供の充実と家庭との連携</p>	<p>(1) ・面談期間のみならず、普段から生徒との2者面談の時間を積極的につくる ・保護者からみると生徒の相談にもっと時間を割いてほしいと思っているのは、回数だけではなくタイミングなどが関係する可能性が高い。何かあったときに時間を作って話を聴くだけでも必要な時があるので、日常業務の中に少し余裕がもてるようなタイムマネジメントを考える。</p> <p>(2) ・進路の情報だけではなく、緊急情報など様々な情報をClassiなどを使って発信する ・コロナ禍で様々なPTA活動が縮小されており、満足度が低くなっている。限られた条件の中ではあるが、できる限り学校と保護者が協力し合える体制づくりを早急に取り戻したい。</p>	<p>(1) ・Q13:本校の先生方は私の悩みや相談に親身になってくれる ・Q14:本校では、私や保護者が学校に相談する機会(三者面談など)が十分にある</p> <p>(2) ・Q29:本校では、私たち生徒に緊急情報が確実に伝達されるシステムが整っており安心できる ・Q30:本校のPTA活動に満足している</p>	<p>(1) (Q13)生徒の評価が、昨年は「満足している」だったが、今年は不満が見られる結果となった。生徒はどの学年においても重視しており、中2・高2の満足度が他の学年と比べて伸び悩んでいる。 (Q14)教職員と保護者が特に重視しており、昨年から三者いずれも高い満足度を維持している。</p> <p>(2) (Q30)改善の優先度は低いものの、三者とも低いので注意。 中学生の教職員・保護者の評価は比較的高いが、高校になると満足度が伸び悩んでいる。</p>

## 5 学校自己評価のまとめ(学校関係者評価委員会意見)

1. 幼稚園から高校まで学園が一体となって取り組んでいることがわかればより価値が上がると感じました。強いチーム(学園)は挨拶、笑顔、清掃などに指導者が率先して取り組んでいることが大切だと考えます。1番難しい取り組みですが、生徒が誇りを持って卒業し、社会で活躍していることが前向きな PTA 活動につながると思います。
2. 自由記述欄よりのコメント施設の老朽化が気になる点について、田中校長先生がおっしゃってました通り、トラックが中に入れない点など難しい点は多々あると思いますが、懸念な点の1つは、トイレ棟以外の校舎のお手洗いの老朽化だと感じます。先日、中学校の体育大会で利用した際、やはり錆びついた部分が気になりました。オープンキャンパスなので利用される方々は桂門ホール、教室、そしてお手洗いは恐らく行かれる方が多いと思います。どうしても目がいつてしまうところではありますので、その部分だけでもリフォームされた方が良いかと思えます。
3. 個人的にはいい雰囲気の学校であると思いましたが、アンケートで見える生徒、保護者職員の認識の差が意外にあると感じました。各方面からの努力も必要ですが、同じ方向を見て小さなことから解決できたらと思います。
4. アンケートの設定と分析がとても細やかに行われていると思います。学校目標の狙いに完全に対応したアンケートなので、問いの意図がはっきりしており、結果を活用しやすいと思いました。書面からは、生徒・教員・保護者間の満足度の差やクラスや学年ごとの差も分析し、改善に活かそうとされてきたことがよくわかりました。保護者の自由記述欄の「優れている点」からは、学校として概ね理想的な教育を提供しているように思われ、安心して子供を通わせている姿が目に見えます。一方、施設設備面の課題は以前より上がっているとの事ですので、改善してあげてほしいと思います。また、教職員の方が感じておられる生徒の安全への不満は、その具体的な内容が気になりました。様々な災害のニュースを聞くと、何かのときの子供を守るために、保護者は学校とどう連携して対応をとれば良いのか、いろいろな場面を想定しておかなければいけないと感じました。
5. 生徒が元気に挨拶してくれる姿にはいつも感心させられます。
6. アンケート結果による生徒・教職員・保護者の間でギャップのある項目は改善されにくいですが、不満が溜まっている項目であり、今後大きな課題なのではないかと懸念され、特に生徒が不満に感じ、教職員保護者が満足している項目では、生徒のモチベーションを減退させる要素になると思われる。
7. 教職員の満足度に注意を払い、その意見を優先的に取り上げることが望ましいと思います。教職員の方々の思い・発言・行動が学校の雰囲気を形づくる最も大きな要因であると考えます。
8. 中学、高校の保護者として、日々先生方の熱心さに感謝しており、重要度、満足度の高い項目からも読み取れることができる。改善の余地がある項目もあるものの、生徒、保護者どちらからも箕面自由学園が好きだとの声を聞くので、引き続き「社会を生き抜くための主体性」を育てていく環境の継続、発展を願います。
9. 生徒や保護者と教職員との間に評価の差があるものに関しては、生の声に耳を傾けて原因追求していただけたら幸いです。どの内容にも共通いたしますが、割と早急に解決できるものとそうでないものがあります。まずは取り掛かることができそうなものから、徐々に改善していただけたら、ますます素晴らしい学校に進化されるのではないのでしょうか。学校に関わるすべての人が笑顔になる学校を期待しております。
10. 多様な保護者のニーズに応える事は大変難しいことだと思いますが、大事なことは学校としての明確な理念と方針のもとで、一つ一つの取り組みがその目的に照らして、適切かどうかを自己評価して、わかりやすく、生徒や保護者へ伝えていくことかと思考しております。
11. 全体的に教職員の積極的な努力と行動力から、生徒・教職員・保護者の満足度が高いのには敬意を表します。学校方針である、「自分で選び、決めて、チャレンジする」等は三者が満足しており、指導が浸透していることが確認された事は特筆する項目でした。「清掃活動・環境美化の大切さ」が三者とも低い点は非常に気になる点である。特に教職員の満足度が低い点が気になる。アンケートでは総合評価には影響ないとコメントされているが、社会に巣立ったときの基本的素養であり、学校生活で指導していただきたい点である。それこそ、学園の建学の精神である、「教養高い社会人の育成」の基本ではないでしょうか。「社会を生き抜く主体性や学ぶことの楽しさを感じている」(知的好奇心が刺激されている)項目が、三者とも低い点が気になる。今後社会に巣立った際に学ぶことへの好奇心と向上心が重要であることも指導してもらい、人材を輩出していただきたい。  
これは現状、日本の根本的な教育課題であるかもしれません
12. 「学校と家庭の連携」、「PTA 活動の満足度」が気になる。本校は歴史的伝統的に保護者が中心となって成り立ってきた学園なので、時代的な問題もあると思いますが、時間をかけて活動の行動支援を考えていただきたいと思えます。